



自衛隊栃木地方協力本部

護国神社前でハロウィン広報展 ～巨大カボチャの重量当てよう～



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、10月6日（金）宇都宮市内に所在する栃木県護国神社前にて広報展を実施した。

当日はハロウィンにちなみ巨大カボチャの重量当てクイズ、制服試着や1/2メートル展示を行い、ブースには下校中の中学生、高校生が大勢立ち寄り、記念撮影を楽しんだほか、巨大カボチャの重量当てでは、クイズで正解すると豪華グッズがもらえることもあり、真剣な表情で挑戦するなど賑いを見せていた。最近では自衛隊に興味のある女性が増え、女性が来場者から「体力に自信ありませんが大丈夫ですか？」「運動部ではないですが自衛官になれますか？」など積極的な質問が多かった。対応した女性自衛官は「体力はこれから鍛えることができます。自衛官になりたい気持ちを強く持つこと、あとはサポートします！」と話していた。

宇都宮募集案内所は「今後も、積極的に募集広報を行い、多くの対象者に自衛隊の魅力を発信し、志願者の獲得に努めていく」としている。

子どものもりフェスティバルで広報展！ ～組みひも作りにチャレンジ～



自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、10月8日（日）宇都宮市冒険活動センターで実施された「子どものもりフェスティバル」において広報展を実施した。

この企画は、宇都宮市が同センターの理解の推進を図るとともに家族、友人などと余暇を楽しんでいただくことを目的として、クラ イミングウォール、ネイチャーゲーム、ネイ チャークラフト、キャンドルづくり、火おこ し、読み聞かせ、ペーゴマ回し、竹馬、竹鉄 砲及び綱わりなど子どもから大人まで楽しめる企画が用意された。自衛隊ブースでは、組みひも作りを企画し、多くの親子連れなど 総勢70人が参加するなど大盛況であった。

参加者は小・中学生が多く、「どうして自衛官になったの？」など様々な質問があり、広報官も子供たちに「お兄さん」と呼ばれながら、未来の自衛官候補に優しく、熱心に対応していた。

宇都宮募集案内所は、「今後も、このような地域と密接したイベントに積極的に参加し、自衛隊がより身近な存在となるよう一丸と なって活動していく」としている。

創設72周年を迎えた新町駐屯地を見学！ ～栃木県茂木町自衛隊家族会の研修を支援～



自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は、10月11日（水）、茂木町自衛隊家族会（会長 平野 和男氏）22名の群馬県に所在する新町駐屯地研修を支援した。

本研修は、駐屯地見学を通じて自衛隊部隊の任務や生活について現地で見学、さらに会員同士の懇親をより深めることを目的に計画された。

新町駐屯地へ向かう車中では、担当広報官より自衛官募集に関する近況説明と自衛隊の多彩な職種・職域及び自衛官のキャリア形成についてDVDを活用して理解を深めた。駐屯地見学では、創立72周年を迎えた新町駐屯地の編成及び部隊活動説明のほか、2014年の御嶽山噴火における行方不明者捜索支援に係る災害派遣活動についてのDVDを用いた説明があり、参加者は特に災害派遣時の困難を極めた救援活動について熱心に話を聞いていた。その後の資料館及び展示装備品見学では、展示装備品に搭乗して様々な質問をするなど、積極的に研修する姿が見られ、参加者からは「戦車やヘリコプターなどを間近で見学できる貴重な体験ができました！」などの感想が寄せられた。

真岡募集案内所は「今後も、協力団体等に対し、部隊研修等の体験を通じて新たな発見や情報を得ていただき、更なる自衛隊に対する認識と理解の醸成ができるよう協力を継続し募集活動に繋げていく」としている。